

2019年度

論語の学校

~RONGO ACADEMIA~

12月14日(土)

13:00~17:00 (開場予定12:30)

二松学舎大学 九段1号館B2F 中洲記念講堂

入場無料

事前申込み要 12月13日まで受付。 ※ただし、定員になり次第締め切り。当日は全席自由席。

『論語』を規範とした 渋沢栄一の事業経営哲学



公益財団法人渋沢栄一記念財団
業務執行理事・事業部長、
渋沢史料館 館長

井上 潤氏

地下から出た『論語』 - 出土資料から『論語』の 原形を探る -

本学文学部中国文学科

戸内 俊介 准教授

《関連企画》 ● 論語入門：牧角悦子 本学文学部教授

● 素読実践：石川忠久 本学名誉教授

【お問い合わせ】 E-mail: rongoak@nishogakusha-u.ac.jp
TEL: 03-3261-1298 FAX: 03-3261-1291 (平日9:30~16:30)
【お申込み方法】 本学ホームページをご覧のうえ、E-mail、FAXでお申込みください。
<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/>

○地下鉄 東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分



※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

 **二松学舎大学**

主催：学校法人二松学舎 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
後援：文部科学省・東京都教育委員会・千葉県教育委員会・埼玉県教育委員会
千代田区・公益財団法人 斯文会・漢字文化振興協会・全国漢文教育学会
日本経済新聞社 人材教育事業局・二松学舎松苓会
協賛：二松学舎サービス株式会社

講演者紹介

公益財団法人渋沢栄一記念財団
業務執行理事・事業部長、渋沢史料館 館長

13:20からの予定

井上 潤 (いのうえ じゅん)

『論語』を規範とした渋沢栄一の事業経営哲学

講演内容

渋沢栄一は、実業界のみならず、福祉・医療、教育・文化、外交等社会事業の面でも民間の立場で尽力し、近代日本社会の創造者・組織者(オルガナイザー)として位置づけられる。

道徳の伴う正当な利益を追求し、官尊民卑の打破を目指し、私益よりも公益を重視したその人間像は、今の世においても、国の内外を問わず非常に注目されている。

『論語』を規範として生きた渋沢の91年の生涯をいま一度振り返り、なぜこのように注目されるのかを探っていくと同時に、渋沢の「論語算盤説」「道徳経済合一説」の考えをいま少し掘り下げ、この理念がこれからの事業経営等にどのような示唆を与え得るのかをみていく。

プロフィール

1959年大阪府生まれ。(公財)渋沢栄一記念財団業務執行理事・事業部長、渋沢史料館 館長。1984年 明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻卒業。渋沢史料館学芸員、学芸部長、副館長を経て2004年より渋沢史料館館長。他に企業史料協議会監事、国際常民文化研究機構(神奈川大学)運営委員、(公財)北区文化振興財団評議員、(公財)埼玉学生誘掖会評議員等を務める

研究分野:「渋沢栄一研究」「日本村落史」

主な著書:『渋沢栄一—近代日本社会の創造者(日本史リブレット人085)』(山川出版社、2012年)、田中宏司・水尾順一・蟻生俊夫編著『渋沢栄一に学ぶ「論語と算盤」の経営』(同友館、2016年/共著)など多数。

渋沢史料館は渋沢栄一の活動を広く紹介する博物館として、1982年に東京都北区西ヶ原の旧渋沢邸跡地に開館。渋沢栄一の生涯と事績に関する資料を収蔵・展示し、関連イベントなども随時開催(現在リニューアルのため2020年3月27日まで休館)。

本学文学部中国文学科 准教授

14:45からの予定

戸内 俊介 (とのうち しゅんすけ)

地下から出た『論語』

—出土資料から『論語』の原形を探る—

講演内容

『論語』には、現在通行している書籍としての『論語』のほか、竹簡や木牘に書かれた出土資料としての『論語』もある。これらはいずれも20世紀以降、発掘を経て世に現れたものであるが、現在、諸事情で全貌を具に把握するすべがない。とは言え、現在公開されている情報からだけでも、出土『論語』と我々の見ている『論語』に若干の相違があ

ることを指摘できる。本講演では、3種類の出土『論語』を紹介したうえで、中でも、近年中国江西省の海昏侯墓で出土した『論語』に重きを置き、『論語』のかつての相貌を見ていきたい。

プロフィール

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、二松学舎大学文学部准教授。専門は中国語学、古代中国の文字と言語。著書に、『先秦の機能語の史的発展—上古中国語文法化研究序説—』(研文出版、2018年)、最近の論文に「再び甲骨文の「不」と「弗」について—使役との関わりから—」(池田巧編『シナ=チベット系諸言語の文法現象2:使役句の構造』、京都大学人文科学研究所、2019年3月)などがある。

申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

①FAX=下記「申し込みFAX送信票」に必要事項を記入の上、ご送信ください。

②電子メール=メール本文に氏名、ふりがな、連絡先の住所、郵便番号、電話番号、性別をご記入の上、

右記メールアドレスにご送信ください。 **申込先メールアドレス:rongogak@nishogakusha-u.ac.jp**

ご注意:お申し込み受付後、特に「受講票」等は送付致しません。直接ご来場ください。

本学とお取引などがある場合は、会社名もお知らせください。

FAX送信先

二松学舎大学(『論語』の学校)行

FAX 03(3261)1291

FAX送信の際には、
番号をお間違えないよう
お願いいたします。

『論語』の学校

—RONGO ACADEMIA—

(2019年12月14日開催)

申し込みFAX送信票

申し込み日 2019年 月 日()			
ふりがな			性別 企業名・団体名 ※個人でお申し込みの方はご記入の必要はありません。
氏名			男・女
住所	自宅 勤務先	〒 —	
※いずれかに○印をお付けください。			
電話番号	()	メールアドレス	@

※記載いただいた個人情報に関しましては、「個人情報保護法」に則り、適正に管理します。

お申し込みありがとうございました。